

長崎県県央保健所感染症発生動向調査速報

(第 29 週週報)

第 29 週 (2026 年 7 月 13 日 (月) ~ 2026 年 7 月 19 日 (日)) ※情報は 2026 年 7 月 23 日作成の内容です。

★トピックス：手足口病に注意しましょう。

県央保健所管内では、第 23 週から手足口病が**警報レベル**となっており、第 29 週は「8.40」と 4 週連続で県内最多の報告数となりました。手足口病は、四肢および口腔内に水疱性の発疹を生じる疾患です。乳幼児での発症が多く、例年報告数の 9 割程度を 5 歳以下が占めますが、大人でも感染する可能性があります。主として咳やくしゃみなどのしぶきを介した飛沫感染や、飛沫や便に含まれるウイルスが手指を介して口から侵入する接触感染により広がります。主な原因ウイルスとしてコクサッキーウイルス A6(CV-A6)、CV-A16、エンテロウイルス 71 型(EV-A71)が知られています。基本的には予後良好な疾患ですが、原因ウイルスによっては、中枢神経系合併症などのほか、心筋炎、急性弛緩性麻痺などの多彩な臨床症状を併発することがあります。例年 6~7 月に流行する傾向にあります。今後も手洗いを励行し、感染防止に努め体調管理に気をつけましょう。

★トピックス：水痘に注意しましょう。

県央保健所管内では、第 28 週から水痘が**警報レベル**になっており、第 29 週は「1.00」の報告がありました。本疾患は、水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる発疹性の感染症です。発熱、発疹を主症状とし、発疹は紅斑、水疱、膿疱を経て痂皮化します。空気感染、飛沫感染、接触感染により広まるため、咳エチケット、手洗いの励行とともに、体調管理に注意して、症状のある場合は早めに医療機関を受診しましょう。

○定点把握疾患（県央保健所） ※（―）は、報告なしです。

疾患名	前週 (28 週)	今週 (29 週)	備考	疾患名	前週 (28 週)	今週 (29 週)	備考
インフルエンザ	0.13	0.63		ヘルパンギーナ	1.40	1.40	
新型コロナウイルス感染症	6.88	7.63		流行性耳下腺炎	―	―	
RS ウイルス感染症	1.80	0.80		急性出血性結膜炎	―	―	
咽頭結膜熱	0.20	0.80		流行性角結膜炎	―	―	
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.40	1.80		細菌性髄膜炎	―	―	
感染性胃腸炎	0.80	3.00		無菌性髄膜炎	―	―	
水痘	<u>2.20</u>	<u>1.00</u>	警報	マイコプラズマ肺炎	―	―	
手足口病	<u>14.40</u>	<u>8.40</u>	警報	クラミジア肺炎	―	―	
伝染性紅斑（リンゴ病）	0.20	0.40		感染性胃腸炎（ロタウイルス）	―	―	
突発性発しん	0.80	0.20		急性呼吸器感染症（ARI）	55.88	51.88	

○県央保健所管内の 1~5 類感染症の発生状況（結核を除く）29 週

報告なし